



▲ 手をつけられないまま捨てられた食品（吹田市第3次一般廃棄物処理基本計画から引用）

日本では年間523万トンの食品ロス（まだ食べられるのに捨てられる食品）が発生しているとされ、これは日本人全員が毎日お茶碗約1杯分の食べ物を捨てている計算になります。

吹田市でも燃焼ごみの約20%が生ごみであり、中には手が付けられないまま捨てられている食品もあります。

「消費」期限と「賞味」期限って、どう違うの？

消費期限

「**食べても安全な期限**」のこと。

おおむね5日以内の期間で、品質が急速に劣化しやすい食品に記載されています。期限が過ぎた食品は食べないようにしましょう。

（例）お弁当、お肉、お魚、
サンドイッチ など



賞味期限

「**おいしく食べることができる期限**」

のこと。品質が劣化しにくい食品に記載されています。期限が過ぎてもしばらくは食べることができます。

（例）スナック菓子、缶詰、
ドレッシング など



消費期限や賞味期限を守っていても、開封されたり、保存方法が悪かったりすると腐ってしまいます！臭いや味を確認してから食べるようにしましょう。

やってみよう！

冷蔵庫を整理して
食材の在庫を確認

必要なものだけ
購入しよう！

おいしく料理を
食べ切ろう！